

地域の個性あふれる 神社の秋祭り

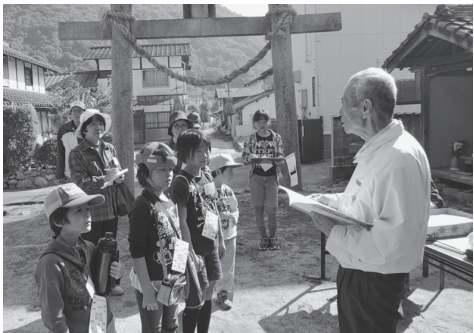
10月7日、市内各地の神社で、秋の例大祭が行われました。地域の力でつくり上げる、個性豊かな秋祭り。いろんな神社を巡ってみるのも、楽しいかもしれませんね。



福田町の稲生神社では、獅子舞いが奉納されました。県の無形民俗文化財に指定されていることもあり、市内外から多くの人が集まりました。今年も、大乘小学校4年生の男子4人が太鼓をたたき、2頭の獅子と息びったりの舞を披露。観客から、盛大な拍手が送られました。

また、的場公園山頂の三鬼神社には、地域のみなさん手作りのしめ縄などが飾られ、神事が行われました。その後行われた「じゃんけん大会」や、お神酒の振る舞いに、参加者は思わず笑顔。地域のみなさんの温かい雰囲気、とても印象的でした。

東野キッズ ふるさとの魅力を再発見！



10月20日、東野町で、ウオークラリー「ふるさと東野を探検しよう」が行われました。今回の企画は、東野公民館の世代間交流子育て支援事業「毎月第3土曜日は公民館へ行く」の一環で、東野小学校の児童、保護者、地域のみなさんなど、約80人が参加しました。

5班に分かれて、8か所に設置されたスタンプを集め、12個の地域に関するクイズに答えながら、町内を探検。お楽しみプレゼントなどもあり、児童たち

は元氣よく文化財などを巡りました。1班の班長を務めた、6年生の大背戸ゆきさんは、「文化財など、知らなかったことがわかって楽しい。」と、感想を話してくれました。また、「子どもたちが仲良くなるきっかけになれば嬉しいですね。」

と話すのは、ボランティアとして参加した進藤誠さん。

東野町の良さを再発見するとともに、地域のつながりを肌で実感することができました。

安らかに 冥福を祈る

10月25日、大久野島で大久野島毒ガス障害死没者慰霊式が行われました。

式典では、この1年で毒ガス障害によって亡くなった人を加えた死没者名簿を奉納し、市長が平和宣言を読み上げました。また、多数の来賓や、毒ガス製造に従事した人、ご遺族など、参列者全員で黙祷、献花を行い、亡くなった人々の安らかなご冥福を祈りました。

今もなお、多くの人々が毒ガス後遺症で苦しんでいます。核兵器と生物化学兵器の廃絶を訴え、恒久の平和を祈ることが、今を生きる私たちの務めではないでしょうか。



一致団結！災害に備える

9月23日、竹原自動車学校で、消防ポンプ操法競技大会の予選大会が開催されました。市内の消防団5チームが参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。

優勝した第2分団は、竹原市代表として、来年の広島県大会に出場します。



「ひろしま教育の日」メッセージ受賞者発表

10月18日、広島県庁で、広島県教育委員会が行う『ひろしま教育の日』メッセージ及びポスターの表彰式が開催されました。

応募された47,618作品中、竹原市からは、賀茂川中学校3年の中秋亜李紗さんが優秀賞を受賞しました。中秋さんは、『学ぶ』とは 未来の扉を開く鍵」という作品での受賞となり、教育に対する期待や思いを表現したことが評価されました。

100歳おめでとうございます

9月26日、小坂市長が今年度100歳になるみなさんを訪問し、敬老祝い金を贈呈しました。適度な運動を心がけたり、食生活に気をつけたりと、みなさん、これまでの健康的な生活が長寿につながっているようです。



花木園の里親に認定

9月30日、バンブー公園の花木園で、里親認定式が行われました。今回認定を受けたのは、竹原市ソフトボール協会のみなさん。市内では12番目の認定となり、今後、花木園の清掃、除草・緑化作業など、維持・管理を行います。



旬がいっぱい ぶちええ竹原物産展

10月20日、市役所で、日本商工会議所青年部の中国ブロック大会竹原大会の一環として「ぶちええ竹原物産展」が開催されました。

会場には、峠下牛の網焼きやお好み焼きなど、市内外からの飲食店がずらりと並び、各店の前には行列ができていました。PRのために登場したかぐやパンダや「竹原かぐや姫」も、子どもをはじめ、大人にも大人気。また、ステージでは、市内のダンスチームやアイドルユニット「まなみのりさ」が登場し、会場を盛り上げました。

特産品と太鼓演奏で 竹原の魅力を発信！

10月14日、広島空港で、空港や空港周辺市町の魅力をPRするひろしま空の日2012ふれあい秋まつりが開催されました。竹原市からは、みなとオアシスただのうみなどが出店。竹原小早川水軍太鼓保存会の迫力あるステージは、多くの観客を魅了しました。

